

# 山田みやこの活動報告

令和元年11月3日(日)

## 第6回生活困窮者自立支援全国研究会 一日目

場所 東北福祉大学国見キャンパス けやきホール

「困難の折り重なりに生きる人々に支援は届いているか?! (人の尊厳に根ざす)生活困窮者自立支援の価値(意義意味)を問う」

4名の方からの提言

《自殺対策》

NPO法人自殺対策支援センター

ライフリンク代表 清水 康之氏

自殺者の多くは、日常的な複数の問題の連鎖で追い込まれ、自ら進んだものではなく生きる条件を剥奪され、命を守ることさえ生きできないプロセスがある。自殺の危機経路にはまり込んだ誰もが生きる道を選ぶために、必要な支援が進められているが支援の乱立により縦割りになっている。関係分野の連携が必要だ。

3つの提案

①地域自殺対策計画との連携

②連携支援のための相談票(つなぐシート)を使った連携

③自殺対策SNS相談により、相談にたどり着けなかった若者や女性を支援につなげる

自殺対策と困窮者自立支援事業の連動を高めて、包括的支援を一步踏み出したい。

《共生のまち創り》

社会福祉法人 ゆうゆう理事長 大原 裕介氏

北海道当別町にて、障がい者のある方や高齢者の支援、子育て支援など地域づくりに取り組んでいる。空き店舗を利用し、障がい児・者の一時預かりサービスの取り組みから、様々な困難を抱えた人たちの「見える化」を行い、相談窓口を設置し住民ボランティアなどの協力で、制度で使えないサービスを行っている。また小中高生に支援の在り方などを考えてもらう「学びの場づくり」も実施。子どもたちに共生のまち創りが価値ある仕事だと知ってもらい、将来、福祉や介護の人材不足解消につなげるために。

第6回 生活困窮者自立支援全国研究交流大会  
「困難の折り重なりに生きる人々に支援は届いているか?!  
(人の尊厳に根ざす)生活困窮者自立支援の価値(意義意味)を問う」

1日目 報告 自殺対策 NPO法人自殺対策支援センターライフリンク 代表 清水 康之氏

自殺者の多くが、複数の問題の連鎖で追い込まれたままに亡くなっています。自殺予防は、「自殺の危機経路」にはまり込んだ人々に必要な支援を受けること、自殺対策基本法、地域における包括的な支援を各地域で展開できる社会的仕組みづくりが重要となります。また、包括的支援が実現して被害者が少ないようには、関係機関・分野が連携していく必要が求められます。

自殺の現状、対策の神髄を踏まえ、①地域自殺対策推進と連携(地域福祉計画との連携、自治体の役割)を、②地域に根ざす支援(地域の若者支援の推進)、③連携支援のための組織構築(「つなぐシート」を使った連携、③「自殺対策SNS相談」)との連携の3つを提案します。自殺対策と生活困窮者自立支援事業の連動を高めて、包括的支援を実現する一歩踏み出したい。

提言 共生のまち創り 社会福祉法人ゆうゆう 理事長 大原 裕介氏

社会福祉法人ゆうゆうでは、北海道当別町を拠点に、障がい者や高齢者の生活支援、子育て支援などに取り組んでいます。活動の原動力は、小中高生に支援の在り方などを考えてもらう「学びの場づくり」も実施。子どもたちに共生のまち創りが価値ある仕事だと知ってもらい、将来、福祉や介護の人材不足解消につなげるために、必要な支援を進められているが支援の乱立により縦割りになっている。関係分野の連携が必要だ。

女性による女性支援 NPO法人BONDプロジェクト 代表 橋本 ジュン子氏

障がい者や高齢者の生活支援、子育て支援などに取り組んでいます。活動の原動力は、小中高生に支援の在り方などを考えてもらう「学びの場づくり」も実施。子どもたちに共生のまち創りが価値ある仕事だと知ってもらい、将来、福祉や介護の人材不足解消につなげるために、必要な支援を進められているが支援の乱立により縦割りになっている。関係分野の連携が必要だ。

刑余者支援 高橋建設衛生生活支援センター 代表 伊豆見 真史氏

全国に先駆け2009年1月に開設し、罪を繰り返す障がい者や若者に対する支援に力を入れています。障がい者や若者の社会参加を促すために、障がい者や若者の学生同士が交流を兼ね、障がい者の理解を深めることで、分野を超えた連携を促す取り組みを行っています。

参加者の声

障がい者や高齢者の生活支援、子育て支援などに取り組んでいます。活動の原動力は、小中高生に支援の在り方などを考えてもらう「学びの場づくり」も実施。子どもたちに共生のまち創りが価値ある仕事だと知ってもらい、将来、福祉や介護の人材不足解消につなげるために、必要な支援を進められているが支援の乱立により縦割りになっている。関係分野の連携が必要だ。

高橋建設衛生生活支援センター 代表 伊豆見 真史氏

全国に先駆け2009年1月に開設し、罪を繰り返す障がい者や若者に対する支援に力を入れています。障がい者や若者の社会参加を促すために、障がい者や若者の学生同士が交流を兼ね、障がい者の理解を深めることで、分野を超えた連携を促す取り組みを行っています。

